

1 開催趣旨

佐賀県は、有明海と玄海灘という2つの海に面し、山や川、クリークが身近にあります。長い歴史において、佐賀の人々は、山に植林し、川の治水と利水に力を尽くし、海に堤防を築くことで、自然と共生した実りある豊かな暮らしをつくりあげてきました。県では、「森川海はひとつ」という思いで、この豊かな森・川・海を人が未来につなぐ「森川海人っプロジェクト」に取り組んでいます。

佐賀の山を源流として潤う佐賀のまちでは、人々の手により、緑を増やし育て、花で地域を彩りもてなす活動や、豊かな緑を活かした佐賀の「本物」の良さを体感する取組が、各地域で進められています。

佐賀の花と緑の価値を未来につなぐ、こうした動きを推し進め、ひとりひとりが自然との共生について考え、行動するきっかけとするために、国内最大級の花と緑の祭典「全国都市緑化フェア」を開催します。

「さがデザイン」※による磨き上げも行いながら、山を大切に作る人々の輪を広げる「山の博覧会（仮称）」と一緒に、全国の方々に佐賀の花と緑、山の素晴らしさを発信し、ひとりひとりの花づくり、緑づくりなどの自発の取組によって佐賀の豊かな自然環境を未来につなげていきます。

※ さがデザイン：佐賀ゆかりのクリエイターと連携したデザイン視点での施策の磨き上げ

2 基本的な考え方

理念

全ての人々に恩恵をもたらす森・川・海を未来へ
～ 佐賀の花と緑の価値を未来につなぐ～

目的・レガシー

自然との共生について考え、行動するきっかけとし、
「自発の地域づくり」につなげる

事業の柱

地域

自発の地域づくり

- ✓ 県民と地域が主役の自発的な地域づくり
- ✓ 地域の自発的な緑化活動の推進
- ✓ 自発の地域づくりの核となる人材育成

人

志を持った人づくり

- ✓ 志を持って挑戦する人材の育成
- ✓ 骨太で健やかな子どもたちを育む取組
- ✓ 未来の花と緑の担い手づくり

交流

協働による交流

- ✓ CSO、学校、企業等による協働の場の創出
- ✓ 多様な人々が参加できる交流の場の創出
- ✓ 花と緑をきっかけとした新たな出会い、人と人のつながり

価値

本物の価値

- ✓ 花と緑、山の素晴らしさの体感
- ✓ 自然、歴史や文化など佐賀の本物に触れる唯一無二の体験
- ✓ 地域資源の更なる磨き上げ・新たな価値の創出

3 佐賀らしいフェアの方向性

佐賀の過去・現在・未来を
緑でつなぐ

花と緑を植えること、育てること、見ること、学ぶこと、食べること等、緑を通じた様々な関わり方を通じて、佐賀の過去に光を当て、佐賀の現在の価値を感じられる場を創り出し、佐賀の未来の姿を描き出すことで、佐賀らしい緑化フェアをつくりあげていきます。

緑化フェアの様々な価値を
日常に還元する

「自発の地域づくり」につなげ、県民が実感できるレガシーに

4 開催概要

- 主催者 佐賀県、公益財団法人都市緑化機構
- 時期 令和10（2028）年春、2か月程度
- 会場 吉野ヶ里歴史公園、森林公園及び佐賀城公園を主たる会場とし、各地域との連携のもと県全域で展開します



吉野ヶ里歴史公園



森林公園



佐賀城公園



- イメージキャラクター
森川海人（もりかわかいと）くん



5 スケジュール

	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
基本構想					緑化フェア開催
基本計画					
実施計画					
会場整備					